

東濃信金100周年で献血

本店 職員や来店者協力

東濃信用金庫は8日から、創業100周年を記念した献血活動を開始した。初日は多治見市本町の本店駐車場に献血車を呼び、職員や来店者52人が申し込み、うち42人が採血に臨んだ。

信用金庫業界は、毎年6月15日を信用金庫の日と定めて社会奉仕活動に取り組んでいる。同金庫も地域で清掃を続けてきたが、コロナ禍を受けて2年前から献血に切り替えた。

今回は3回目、創業100年の節目で規模を拡大



創業100周年記念で献血をする職員。多治見市本町、東濃信用金庫本店

大。22日までに土岐中央、中津川支店など9会場に献血会場を設け、約300人が協力する予定。

同金庫は「新型コロナウイルス感染症の影響で輸血用血液が不足していると、赤十字血液センターから協

力を求められた。営業ブロック9地区全てで会場を設け、呼びかけたい」としている。
(箕浦由美子)